

令和5年度第4回八代警察署協議会の開催 2月20日(火)

通常点検視察

当署駐車場において、署員35人による通常点検を視察していただきました。

当署での通常点検視察は、平成22年以来でしたが、指揮官(西村地域指導官)の号令に合わせた機敏かつ整然とした警察官の動きに、委員からは、「緊張感が伝わった。」「初めて見る光景に圧倒された。」などの感想が寄せられました。



通常点検とは、警察官の職務遂行に必要な諸般の状況を検査し、その不備の点を訓練整備して、厳正な規律を養うために行うものです。

質疑応答

問) 他県では、電動キックボードによる事故も発生しているようですが、八代には電動キックボードの利用者は、どのくらいいるのですか。

答) 本年2月3日、愛知県名古屋市において、電動キックボードによるひき逃げ事故が発生して、歩行者が重傷を負いました。

昨年7月に施行された改正道路交通法により特定小型原動機付自転車、いわゆる電動キックボードは専用の小型ナンバープレートが自治体から発行されます。

八代市では、「1件の交付実績がある。」と承知していますが、これまで警察活動での取扱いはありません。今後、電動キックボードの増加が想定されるので、法令違反があれば指導取締りを実施していきます。



問) 能登半島地震の被災地において、自治体や消防署の職員を名乗り、募金や寄付を呼びかける詐欺が発生したり、避難後の住宅を狙った空き巣などの犯罪が増えているという報道があります。地震等による大規模災害発生時の治安維持や犯罪防止について、行政機関や地域団体等と連携した取組など、現在、どのような体制、対策がとられているのですか。

答) 熊本県警では、大規模災害等の発生に備えて、熊本県警察災害警備計画を策定するなど、不測の事態に備えています。その中で、被災地での犯罪の発生を予防するために、警察災害派遣隊(特別自動車警ら部隊等)が派遣されることとなっています。

熊本地震の際には、発災翌日には、捜索隊とは別に福岡県の自動車警ら隊が応援に駆けつけ、その後も、九州各県や西日本を中心とする各県から派遣された警察官に犯罪の抑止活動をしていただきました。

能登半島地震においては、犯罪抑止活動等に従事するために県警からも警察官を派遣しており、当署からは、3月9日から約2週間、2人を派遣する予定となっています。



今年度も、無事に4回の定例会を開催することができました。
委員の皆様におかれましては、来年度も引き続き、八代地区の安全・安心の実現に向けて、様々な角度からの御意見等をお願いいたします。

